

褥瘡新規発生率

褥瘡は仙骨部や殿部、足踵部などの皮膚が長時間圧迫し続けたり、皮膚に摩擦やずれが起きたり、おむつなどで湿潤状態に曝されたりすることにより起こる皮膚及び皮下組織の損傷です。入院後に褥瘡が出来ないように、自分で動くことが出来ない人に対しては頻回に体位交換を行うことが病院では行われています。

褥瘡は、看護ケアの質評価の重要な指標の一つになっています。

定義・計算方法

褥瘡新規発生率 = (入院後に新規に発生した褥瘡の数) ÷ (調査月の新入院患者数 + 前月最終日在院患者数)
推定褥瘡発生率 = (調査日に褥瘡を保有する患者数 - 入院時すでに褥瘡保有が記録されていた患者数) ÷ (各月最終日の在院患者数) × 100

当院の数値

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
褥瘡発生率	0.64	0.5	0.49	1.74	1.82	2.28	2.28	2.55
推定発生率	-	3.03	3.82	2.29	2.72	4.16	3.98	4.59

コメント

褥瘡発生率は1.7%以下を目指しています。発生率を下げるために、コメディカル部門を含むスタッフによる褥瘡研修会を毎月開催しています。また、ポジショニング回診を行い、褥瘡チームよりスタッフに指導をしています。新規発生に対しては、発生後早い時期に回診し、より早い治癒を目指しています。